



第 34 号

発行日 令和8年3月1日

発行者

杉戸町スポーツ少年団

広報委員会

☎ (0480) 33-1111

「あきらめない力が 未来をつくる」

杉戸町教育委員会 教育長
伊藤 美由紀



杉戸町スポーツ少年団の皆様におかれましては、日頃より生涯スポーツの普及・発展並びに青少年の育成に多大なるご尽力を賜り、深くお礼申し上げます。

また、卒団生の皆様には、長い間スポーツ少年団活動に熱心に取り組まれたことに対し、心から敬意を表すると共に、晴れて卒団を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。これまで仲間とともに歩んできたスポーツ少年団活動の経験を生かし、中学生として、さらに成長・活躍されることをご祈念いたします。

さて、昨年は耳が聞こえない、聞こえにくいアスリートを対象とした、スポーツの国際大会「東京二〇二五デフリンピック」が開催されました。一九二四年の第一回から百周年を迎える大会で、初の日本開催となる大会でもありまし

た。デフリンピック競技のルールは基本的に一般の競技と同じですが、スターターや審判の合図など競技に必要な音は「フラッシュランプ」や「旗」を使い、視覚的に補って行われます。

そんな大会で、日本選手団メダル第一号となったのは、陸上男子四百m山田真樹選手です。山田選手は日本デフ新記録で優勝し、金メダルを獲得しました。さらに、男子二百mで銀メダル、男子四百mリレーでも金メダルを獲得し大きな活躍を見せました。三年前のブラジル大会では、新型コロナウィルスの影響により、日本選手団が大会途中で出場を辞退。山田選手はスタートラインに立つことができませんでした。当時を「自分の力ではどうすることもできない理由で出場できなくなったダメージは大きかった」と振り返っています。一度は競技を離れましたが、東京での大会開催が決定したことを受け、再び、競技への復帰を決意しました。そして、三年前の無念を乗り越えて、見事メダルを手に入れました。

卒団生並びに在団生の皆様はスポーツ少年団で、様々な経験をしてきたことと思います。これからの人生、さらに多くの出会いや経験があり、時には努力しても思い通りにならないことがあるかもし

れません。そんな時、スポーツ少年団で身につけてきた、困難に立ち向かう力はきつと自分自身を助けてくれます。ぜひ、自信をもって自分の道を歩んでいってください。

結びに、杉戸町教育委員会といましては、これからもスポーツ少年団の皆様とともに、スポーツを通じた子どもたちの健全育成に取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご尽力を賜りますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

「暑い夏を乗り切って」

杉戸町スポーツ少年団 本部長
大塚 国夫



杉戸町スポーツ少年団指導者・母集団の皆様には、日頃より少年団活動・普及に多大なるご協力を

頂きまして、誠にありがとうございます。

昨年は、杉戸町スポーツフェスティバル、雨天後のグラウンドコンディション不良のため中止となり、

残念でした。

令和八年度の杉戸町スポーツフェスティバルは、皆んなで成功させよう。

最近の新聞紙によると、夏の暑さ対策として、選手の健康上などから高校野球を七イニング制で行くかが検討されています。

春高バレー（全日本高校選手権大会）では、準々決勝までを三セットマッチで行い、準決勝以降を五セットマッチにしています。

又、サッカーは夏のインターハイを三十五分ハーフにしています。さらに、二〇二四年大会からは、比較的涼しい福島県と北海道で開催されています。

特に、令和七年度の夏は暑かったですと思います。

私達スポーツ少年団も、夏の試合を避け、試合時間の短縮を考える事も必要かと思えます。

スポーツ少年団の皆様、いろいろと大変な時ですが令和八年度も頑張ろう。

最後になりましたが、学校、保護者、地域の皆様、杉戸町スポーツ少年団に今後共、ご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

六年生の皆様、卒団おめでとうございます。良く頑張りました。中学校に行っても頑張ってください。

応援しています。

杉戸諏訪サッカー



ぼくは、三年生の三月頃諏訪サッカー少年団に入団しました。最初はわからない事だらけで入ってすぐキーパーになり初めての大会の時は緊張しました。最初の頃は全然出来なくて嫌になる時もありましたがコーチや友達に指導してもらい少しずつ出来るようになりました。マクドナルド杯で優秀選手賞をもらった時は嬉しかったです。

その後フィールドにも入るようになりました。フィールドでもわからない事が沢山で怒られてばかりでしたが、走る事が好きな僕はフィールドに入れて嬉しかったで



す。六年になってキャプテンになった時は嬉しいと同時に不安もありました。自分はキャプテンとして出来るのか悩んだ時期もありましたが皆が支えてくれたおかげで半年間キャプテンとしてやる事ができました。ここまでサッカーを続けられたのも指導者の皆さん保護者の皆さんのおかげです。三年間本当にありがとうございました。

作田 孜龍

ぼくは、四年生の春から諏訪サッカー少年団に入りました。入団当初は、友達とサッカーをやりたいと思いい練習日が楽しみでした。でも、練習へ行くたびにうまくプレーができず、練習日が不安になり、練習へ行かない日もありました。

それでも練習に出ると先輩やコーチたちがやさしく接してくれただので、またサッカーをやりたいという気持ちをもてるようになりました。六年生では、苦手なポジションでプレーすることもあり、ぼくはまた、不安な気持ちになることもありました。そんな中、コーチに、キーパーをやりたいと伝えると、キーパーのやり方を教えてくれました。キーパー練習を始めてから次の日の大会でキーパーとして出ました。その日初めてチームのためにゴールを守りたいとい

う気持ちになりました。

結果は負けてしまったけど僕が初めてくやしかった大会となり、忘れられない試合になりました。諏訪サッカーに入って三年間、仲間とのきずなができました。何でも経験することの大切さを学ぶことができました。

コーチ、保護者の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

福田 颯真

ぼくは五年生の五月に諏訪に入団しました。最初のころはボールがちゃんとできていなかったから自主練をたくさんしました。自主練をたくさんしていたからちよつとずつ上達していった試合に出る回数もちよつとずつ増えていきました。試合のときは少し緊張したけど、ちゃんとフィールドでボールを所持することができました。

試合に出るから初めて点を決めることができたから自分が上達したと思っただけうれしかったです。ぼくは、六年生の六月に入団しました。

元々は、四年生の春休みくらいから諏訪に入団していたけど最初はサッカーをあまく見ていてか弱い気持ちで入団したけどいざ練習をやってみると少しきつい練習で

ぼくには合わないと思い、一か月ほどやって退団してしまいました。

その後もサッカーは好きで遊びで友達といっしょに練習したりして毎日ボールをさわっていました。その結果、またやる気が出てきてもう一ど入団したいと言いました。二回目の体験に行きました。そして二回目の体験で練習をしてみようと、やっぱりまだ自分に合わなくてあきらめてしまいました。

それがくやくして自主練をたくさんしました。パスをしたりシュート、トラップなどドリブルを練習しました。そして今にいたりました。短い間だったけどコーチ、チームメイト、保護者の人たちが最後まで見守ってくれました。卒業までのこり二か月だけ最後までやり切ります。短い間ありがとうございました。

江本 蒼



杉戸倉松サッカー



ぼくは杉戸倉松に入団してかわったことがいっぱいあります。大きくなつたことは三つあります。一つめは、仲間をしんじることです。ぼくはさいしょ仲間をしんじずにじぶんかってにプレーをしてまけるしあいが多くていんな人に仲間をしんじてみないわれ仲間をしんじたらかてるしあいが多くなりました。二つめは、はげますことです。ぼくはおこられることが多くていつも泣いていました。そんなときでもいつでも仲間のみんなははげましてくれました。でもぼくは、仲間がおちこん

するときこえをかけられませんでした。たすけてもらうだけじゃだめだともいこえをかけられませんでした。三つめは、努力することです。ぼくは、リフティングを百回やるの一日かけました。できたときのたっせいかんがうれしくてリフティング大会ではメダルをもらせるようになりました。倉松サッカーにはいつてよかったです。

僕は一年生の頃、従兄がサッカーをしている姿に憧れて、倉松サッカーに入団しました。入団して約五年間、コロナ禍や県大に出られることなど、大変な事や嬉しかった事がありました。そこから学んだことが大きく二つあります。一つ目は、サッカーの楽しさです。コロナ禍の時に家で工夫してサッカーをすることや、練習でできたパス回しが試合でもできたことに楽しさとやりがいを感じました。

薄田 和

んだことをこれからの中学校生活や、部活動でのサッカーに活かしていきたいです。

宮内 煌翔

僕は、二年生の時に入団しました。最初は少し緊張したけれど、みんながやさしくしてくれました。このチームはすごくいいチームだなと思いました。

僕が一番心に残ったことは、県大会に出場を決めた試合です。○対○で延長戦になって、すごく緊張したけれど勝つことが出来ました。みんなもすごく喜んでいて、僕も涙が出るくらい嬉しかったです。

倉松サッカーで、四年間続けていろいろなことが学べました。いろいろな学校の人たちとも友達になれてよかったです。

できないことがあつて、落ちこんでしまった時があつても、諦めずにできたことが良かったなと思いました。

僕は「万里一空」という四字熟語が好きです。万里一空というのは諦めず努力し続けるという意味で、中学でもそれを大切にしてサッカーを続けていきたいです。

岡田 直樹

ぼくは、二年生から杉戸倉松サッカーで、色々な事を学びました。試合では思うようになりかなくやしい日もありましたが、仲間

と声をかけ合い、最後まであきらめず自分なりに成長を感じられるようになりました。

しかし、失敗したり自信をなくしかけた事もたくさんありました。そんな時に監督やコーチ、家族などのサポートもあり、あきらめずにプレーすることができました。

杉戸倉松サッカーを通して学んだ事は、うまくいかない時こそ努力を続ける、絶対にあきらめない、相手を思いやる気持ちや、あいさつや礼儀の大切さも身についたと思います。この経験をこれからの中学校生活でも生かしていきたいです。サッカーをここまで好きにさせてくれた杉戸倉松サッカーに感謝しています。

僕が杉戸倉松サッカースポーツ少年団に入団して、一番大きな学びとなったのは仲間と一つの目標に向かう大切さです。入団する前の僕にとつてサッカーはただボールをけるのが楽しい遊びの一つだと思っていました。

しかし、このチームで過ごした時間は僕にとつてそれ以上の深い意味を教えてくださいました。入団当初は、僕は自分のプレーばかりを気にしていました。自分がシュートを決めた時、自分が目立ちたいという気持ちが強く周りが見えていないことも多かったです。しかし、

練習を重ねる中で、サッカーは一人では決して勝てないスポーツだということに気づかされました。特に印象に残っているのは、大会や練習試合での出来事です。ミスをして落ちこんでいた僕を仲間が、「次あるよ!」「どんまい、切り替えて!」

茂木 類

と声をかけてくれました。これからは、落ちこんでる人をはげませる選手になりたいと思いました。

宮崎 一輝

ぼくは、四年生の夏の終わりころに倉松に入団しました。最初は、ドリブルやトラップなどわけがわからずにサッカーをやっていました。しかし、指導者の皆様やお父さん、お母さんなどが試合終わりに、あの時はこうすれば良いよなど、どのようなプレーがだめだったのか教えてくださったおかげで、ドリブルやトラップ、シュートなどが打てるようになりました。自主練や全体練習、試合などで、入団した時とは比べものにならないくらい成長しました。入団した時の自分を超えられてとても楽しかったし、とても嬉しかったです。二年間という短い間でしたが倉松サッカーで成長する事ができました。指導者の皆様、お父さんお母さん本当にありがとうございます。

辻 直哉

僕は三年生の春に杉戸西サッカーに入団しました。最初は、練習や試合に行きたくなく、サッカーがあまり楽しいと思いませんでした。でも三年生の秋ごろから五年生の試合に、四年生から六年生の試合に帯同して、四年生では、試合に出場することが増えました。五年生になると六年生と仲良く出場できるようになり、サッカーが楽しいと思いました。六年生で倉松に入団しました。最初は、不安でいっぱいでした。でも、チームのみんなが優しくしてくれて、分からないことなどを教えてくれて、倉松に入って良かったと思えました。試合でも、点を決めることが増えたと、ドリブルで相手をぬくことも増えました。僕を四年生のときから試合に出場させてくださった杉戸西のコーチのみなさん、優しくしてくれた六年生。六年生からの短い一年間だけだったけど、迎え入れてくれたコーチの方々やチームメイト。そして、いつも支えてくれた親。ありがとうございます。



岩永 浩輔

杉戸レッドスターズ



僕は、兄がレッドスターズに入団したことをきっかけに、年長から始めました。

年長のころはバットをふることもボールをキャッチすることもとても難しかったです。

けれど、僕は練習が終わってからもお兄ちゃんとキャッチボールやバッティング練習をたくさんしました。そのおかげでレッドの練習でもとれるようになったり打てるようになりました。そしたら野球が楽しくなり、野球を続けたいという気持ちになりました。本当に監督、コーチのみなさんありがとうございました。

仲村 駿 希

ぼくが一年生で杉戸レッドスターズに入団した時は、同級生が一人しかいませんでした。ルールも分からず、野球が楽しくありませんでした。でも、学年が上がるにつれ、同級生が増えて、一緒に練習したり、試合に出たりして、野球が楽しくなりました。

中里 周生

教えてくださる監督やコーチ、応援してくれる家族、励まし合える仲間がいたから、今まで野球を続けることができました。六年間ありがとうございました。

小島 一颯

僕が、野球を始めたきっかけは、兄達が野球をしており、ユニフォームを着て試合に行く姿がカッコよくて、僕も一年生から野球を始めました。最初は思う様にプレーができず、悔しい気持ちになる事がありませんでしたが、監督、コーチに教えてもらった事を大切にし、毎回練習を一生懸命がんばり少しずつできる事が増え、自信がつくようになりました。支えてくれた家族や監督、指導者への感謝を忘れず、杉戸レッドスターズで学んだ努力する心を中学生でも生かしていきたいです。

大沼 怜 央

私は、小学三年生のときに、お兄ちゃんが野球をしていたからという理由で始めました。最初のころは、チームメイトがみんな男の子ということで、馴染めるか不安でいっぱいでした。けれど、野球関連のみなさんや家族がいつも支えてくれたおかげで、最後まで野球を続けることができました。この経験を活かして、これからも日頃から感謝の気持ちを忘れずに、生活していきたいです。

木村 杏 朱

僕がレッドに入団したのは、三年生でした。始めたころは、緊張でガチガチだったけど、チームの仲間などのおかげで少しずつ慣れていきました。初めは、バットにもあたらず守備でもエラーしていた、でも上手な人達を見て学んだり自分でも、試合でエラーしたところをなぜエラーしたのか、など分析をして次に生かそうとしました。このようにできたのは監督、コーチ、チームの仲間のおかげだと思います。本当にありがとうございました。

増田 大 翔

僕は、四年生の夏に杉戸レッドスターズに入団しました。入団したきっかけは、二〇二三年のWB Cです。大谷選手などの選手のプレーを見てとてもカッコいいなと思ったからです。野球を始めたころは、フライやゴロが取れませんでした。先輩達のプレーをお手本にまねしてみると、取れるようになりました。

今まで支えてくださった監督、コーチ、団のみんな、家族には、本当に感謝したいです。僕は、ここで学んだことを活かして、中学校、高校でがんばりたいです。

小沼 健 太

ぼくは、友達にさそってもらって杉戸レッドスターズに入団しました。最初のころは転がるボール

を取る事ができなかったけど、仲間のみんなは、失敗を優しく受け入れてくれたので、努力して上手になろうという気持ちになりました。一年半の努力でやっとホームランを打つことができました。ホームインした時には、うれしさと同時にかんとくやコーチへの感謝の気持ちをもめました。とても楽しい二年間の日々を送らせていただき、ありがとうございました。

和田 結 生

僕は、五年生から野球を始めました。始めたきっかけはテレビでプロの試合を見て楽しそうだなと思っただけです。実際に野球をしてみると、ゴロやフライがとれなくてエラーをたくさんしてしまいました。思っていたよりも難しかったです。監督やコーチに教えてもらったけど、試合にはあまりできませんでした。試合にはあまりできませんでした。試合にはあまりできませんでした。試合にはあまりできませんでした。

井上 結 翔

ぼくは、学校の友達にさそわれて野球を始めました。最初は練習がめんどろだったけれど、みんなが活躍するのを見て悔しくなってきた練習に励むようになりました。杉

戸レッドスターズに入団した直後はきんちようしたけれど、みんながたくさん話しかけてくれてうれしかったです。監督もコーチもていねいに教えてくれたおかげで、強い打球が打てるようになり、野球の楽しさを知ることができました。

中川 亮吏



杉戸西サッカー

僕のチームは六年生が僕一人だけだったけど下の学年のみんなと練習したり、試合にでて楽しかったです。あまり勝つことはできなかったけど点を決めるときはうれしかったし、みんなと一緒にサッカーができてよかったです。チームのみんなとコーチとお父さん、お母さんに感謝したいです。中学生になってもサッカーで学んだことを生かして頑張りたいです。

町田 大翔



堤根ブルービッキーズ



うまくなりたいと思うようになりました。くやしいときや、楽しいとき、いろいろなときがあり、一年生と、今の自分をくらべてみると、もちろんうまくなれたし、自分より下の学年の子に自分が教えることもできて、うれしいと感じるときもありました。逆に、自分がまだ知らないことを、友達が教えてくれたりして、私は本当にこのチームに入ってよかったと思いました。

三田 凜

僕は堤根ブルービッキーズの体験会をきっかけにこの野球チームに入団しました。

始めたころは、打席に立つこともわかって野球をやめたいと思うことがとても多かったです。だけど毎週練習に行くことでボールの投げ方やバットのふり方などをおぼえて野球をやりに行くことがいやではなくなりました。五年生のころから内野をまかされて試合にでれるようになりました。はじめて試合でヒットを打ったときは、とてもうれしかったです。

六年生になると一番をもらってピッチャーをできるようにになりました。四番も打って、ホームランがだせるようになりました。これからも感謝の気持ちをわす

塩澤 京果

れずに、野球をがんばりたいです。

金野 倅 大

私が堤根ブルービッキーズに入団するきっかけになったのは、小さいころに姉をむかえにいったとき、姉の野球をやっている姿をみてかっこいいなと思って入団しました。

野球をはじめたころは、かんとかやコーチにやさしくボールの握り方や投げ方、バットのふり方を教えてもらいました。また、野球を通して友達もふえました。

上級生になると練習の中で次々と野球のルールをおそわりました。そこではじめて野球のルールはともむずかしいものなんだなと思いました。

六年生最後の一年になると、二年生におしえることが多くなりました。オールスターにも参加しますます上達しました。また、いちばん野球の思い出に残ったのは、チームみんなで協力してチームの目標「公式戦で一勝」という目標をクリアすることができました。それは、いままで支えてくださったかんとかやコーチ、チームのみんながいたからだと思います。いままでお世話になったかんとかやコーチ、お家の人、それとチームのみんな六年間本当にありがとうございました。

僕は、四年生の夏に、ブルービッキーズに入っている友達に誘われてブルービッキーズに入団しました。

始めた頃は、ボールの取り方、バットの振り方などが分かりませんでした。ですが、指導者の教えもあり、すぐに上達していききました。最初は、取り方などを教えてくれる優しい方で練習をしていましたが、徐々にみんなと同じノックに入れるようになりました。でも、僕は、フライが恐くて取れませんでした。それでも、手で上げてくれたりなど、様々な方法で恐さを無くそうとしてくれた指導者のおかげでノックでフライが取れて、自信が持てました。そして、四年生の時の試合で、ライトを守っていると、フライがライトにきました。そして、そのフライを取ることができました。本当に嬉しかったです。バッティングは、あまり打てず、五年生のときには、三振王をとってしまいました。でも、六年生になったら少しは、打てるようになったので、打つときのフォームを教えてくださいました。指導者の人達には、感謝したいです。

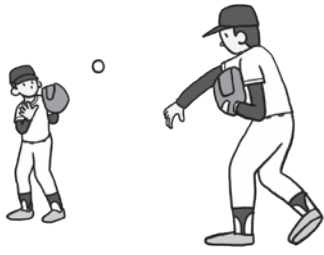
活躍が少なかった子供を見に来てくれた、お父さん、お母さん、少しでも上手くなるように教えてくれた指導者の皆さん本当にありがとうございました。二年程僕に

教えてくれたことは、絶対に忘れ
ません。中学校にいてもがんば
ります。

岩田 理人

ぼくがブルービッキーズに入団
するきっかけは友達にブルービ
ッキーズに入ってみないといわれ
ブルービッキーズに入りました。最
初のころはフライもゴロも全然と
れなかったです。だけど監督や
コーチがていねいにおしえてくれ
てフライやゴロが取れるようにな
りました。最初のころは外野だっ
たけど途中から内野を守ってきん
ちようはしたけどそれ以上に楽し
かったです。これまで野球ができ
たのは監督、コーチ、おうちの
人のおかげです。本当に一年間あ
りがとうございました。

野口 夏輝



杉戸ジュニアテニス



ソフトテニス部での活動を通し
て、技術だけでなく心も成長する
ことができました。苦しい練習の
日々も、仲間と励まし合ったから
こそ続けられました。支えてくだ
さったコーチや保護者、仲間への
感謝を忘れず、この経験を中学校
生活に生かしていきたいです。

吉田 怜生

僕は二年生の春に杉戸ジュニア
に入団しました。最初は緊張して
うまく杉戸ジュニアに馴染めな
かったけど、練習に行くにつれて
友達が増え、コーチは、時にはやさしく時には厳しく教えてくれま
した。一生懸命練習して、結果を

残せるようになりました。コーチ
の方々に言われたことを生かしな
がら、中学校でも頑張っていた
と思います。

田中 翔真

「このスポーツ楽しすぎる」そ
う思ってから僕にとって一番大切
な時間となりました。挨拶、礼儀
努力を学び悔し涙も最高の笑顔も
経験しました。団長、監督をは
じめ、コーチ、仲間を支えられ成
長できたこと、歴史ある杉戸ジュ
ニアという恵まれた環境の下で感
謝があります。この思い出を
胸に新たな一歩を踏み出してい
ます。

小澤 司真

私は、杉戸ジュニアに入団して
みんなと練習した時間がとても楽
しかったです。試合に勝ったとき
のうれしさや負けたときに励まし
てもらったことは忘れません。監
督、団長、コーチ、保護者のみな
さん、送迎してくれる両親にも感
謝しています。中学でも大好きな
テニスを頑張ります。

高橋 杏

私は三年生から杉戸ジュニアに
入団しました。最初は仲間を追
いつくの必死でした。はずかしく
て声も出せず、苦しい時もあった
けど、コーチや先輩がやさしく見
守ってくれたり、熱心に指導して
くれたおかげで成長することがで

きました。ペアと声を掛け合い
最後まであきらめずボールを追
かけた経験は私の最高の思い出
です。

猪瀬 麻央

僕がテニスを始めて学んだこと
は、二つあります。一つ目は、感
謝の気持ちです。自然と感謝の気
持ちを人に伝えられるようになり
ました。これは、かんとく、団長
コーチの方々のおかげです。二つ
目は、コミュニケーション力です。
杉戸ジュニアに入って学んだこと
を生かして、中学校もがんばりた
いと思います。

富塚 陽人

私は、五年生の六月ごろ杉戸
ジュニアに入団をしました。最初
は、全然打てなかったり、色々慣
れない事も多かったけど段々と上
達していききました。テニスだけ
なく礼儀も教えてもらいました。
監督、団長、コーチには感謝を
しています。杉戸ジュニアで経験し
たことを生かして中学生でもテニ
スを続けたいです。

鹿久保 心莉

僕は、五年生の六月ごろに、入
団しました。初めは、ラケットの
面にボールがあたらなくて、試合
にもなりません。だけど、
監督や、団長、コーチの人達が、
とても優しく、教えてくれてでき
なかつたことも、できるようにな

り、試合にも勝てるようになり
ました。なのでこの経験をいかして
中学生になっても続けたいです。

菊地 春翔

ぼくは、五年生の夏から杉戸
ジュニアに入団しました。試合で
負けて悔しい思いをしたり、仲間
と声をかけ合ったりしながら、
ソフトテニスを通して心も強く
なつたと思います。指導してくだ
さったコーチや監督、団長、一緒
にがんばった仲間に感謝していま
す。ここで学んだことを胸に、こ
れからも全力で挑戦していきま
す。

石井 陽海

ぼくは六年生の八月に杉戸ジュ
ニアテニスに入りました。途中か
らで少し不安でしたが、コーチや
仲間がやさしくしてくれて楽しく
過ごせました。はじめは全然勝て
なかつたけれど、少しずつ勝てる
ようになった時はとてもうれし
かったです。中学生でもがんばり
ます。今までありがとうございます。
した。

篠部 晴希

僕は六年生の時に杉戸ジュニア
に入団しました。最初は下手だっ
たけど、少しずつうまくなってい
きました。それも、団長やかんと
く、コーチや杉戸ジュニアのみな
さんが教えてくれたおかげです。杉
戸ジュニアでおそわつたこと一つ

一つを思い出しながら、中学校でもがんばっていきたいと思います。今までありがとうございます。

山川 陽平

ぼくは、杉戸ジュニアに入団してうれしかったことがあります。それは、テニスが少しだけうまくなつたことです。前から自分の住んでいる町でもテニスを教わっていました。でも、杉戸ジュニアに入ると、試合のしかた、さまざまなボールへの対応のしかたを覚えてもらいました。中学校でもこの経験が生かされるとうれいす。

加藤 陽向



杉戸西ドラゴンズ



戦った事、そして西ドラで学んだことを大切に中学野球も頑張ります。

小林 蒼侑

僕が西ドラに入団したのは、二年の春でした。朝早くからの試合は大変でした。しかし仲間といっしょにいる時間が楽しかったのので、このころから練習が楽しくなりました。家でも練習していました。平日の夜や、試合の日の朝にお父さんとトスバッティングをしていました。そのおかげで東桜大会で優秀選手賞をとることができました。これからも、西ドラで学んだことを生かして、中学校でもがんばりたいです。

小野 信太朗

僕は、三年生の春から西ドラゴンズで野球を始めました。特に思い出に残っているのは、試合で初めて打った時のことです。その時に、みんなが「ナイバッチ」とほめてくれて嬉しかったのを覚えています。六年生では仲間と一緒に目標だった県大会出場ができて本当に嬉しかったです。

西ドラで学んだことを活かして、中学生になっても野球を続けたいです。四年間西ドラで指導をして下さった監督、コーチ、今まで本当にありがとうございました。

大谷 一翔

私は、兄二人が野球を一生懸命やっているのを見て興味がわき、野球を始めました。

今井 康輔

この三年間すごく野球を楽しめて、今年も女子野球の大会にも出場できて、良い思い出になりました。監督やコーチには、勝つうれしさや負けたときの悔しさを教わり、それをバネに練習にはげむことができ感謝しています。

中学生になっても教わったことを忘れず、失敗をおそれず挑戦していきたいです。

並木 優芽

ぼくは、杉戸西ドラゴンズで野球をして思い出が沢山あります。その中の一つを紹介したいと思います。

それは、人生初打席です。ぼくが三年生で野球を始めてコーチ達に沢山教えてもらいました。練習試合で代打で出してもらいました。ぼくはピッチャーの球が速くて、打てるか心配でしたが、ファールだったけど、バットにあたりました。コーチにもほめられて、思い出に残る打席になりました。

今井 康輔

ぼくにとつて西ドラで過ごした時間は、かけがえない宝物になりました。特に、みんな練習を積み重ね、試合でアウトをとれた時の達成感は、何よりも特別なものでした。一人で練習のボールを

とるのは違い、仲間と声を掛け合い、力を合わせてつかんだアウトは最高にうれしいものだと分かった監督やコーチ、チームのみんなに、心から感謝しています。

新江 陽斗

四年生の冬、ぼくは杉戸西ドラゴンズに移籍しました。みんながあたたかく迎えてくれたので感謝しています。

以来、監督やコーチのご指導のもと、たくさん練習を重ねてきました。チームメイトとも仲良くなり、強い絆も築けたと思います。

おかげ様で、打撃、走塁、守備、どれも格段に上達しました。そして、東部大会優勝という成績を残せたこと、目標だった県大会に出場できたことは大きな喜びです。

ぼくは、杉戸西ドラゴンズで野球ができて幸せでした。ありがとうございました。

綿貫 祥仁郎



高野ジュニア ソフトテニスクラブ



私は、一年生の冬ごろに、高野に入団しました。最初はなかなか打てなくて、試合に出ても何回かしか面に当たらず悔しい思いをしてきました。でも、あきらめないで何度も練習を続けたら連続で打てるようになりました。今年は遠征も増え、大変な一年でしたが、ここまで協力してくれた保護者の皆様、指導して下さったコーチの皆様、本当にありがとうございました。

廣瀬 由依

私は、二年生の夏に高野ジュニアに入団しました。

初めのころは、なかなか上手く打てず、試合をしてもほとんど負けていました。しかし、練習を重ねていくにつれ、試合に勝てるようになっていきました。

今では、試合で勝てるようになってきて、ソフトテニスを楽しむことができている。

試合や練習を通して、礼儀や社交性を学ぶことができました。コーチの皆様、ご指導ありがとうございました。

住友 美咲

私は、一年生のころから、ずっとテニスをしてきました。最初のころは、ぜんぜん打てなかったけど、今は、試合にでれるほど打てるようになりました。試合にでた時は、勝った時はうれしき、負けた時のくやしき、がありました。テニスを通して、技術だけではなく、礼儀や仲間の大切さを学ぶ、うまくいかない時も、みんなと協力して頑張ることができました。このチームで学んだことを忘れずに、これからもこの経験をいかして頑張ります。

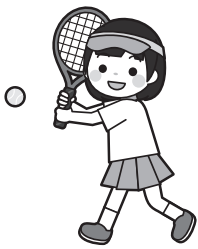
森谷 杏奈

になりました。上達するにつれて、どんどん練習内容が厳しくなっていきました。たくさん練習し、体力が付き、テニス以外でも活躍することが多くなりました。コーチの方々が指導ありがとうございました。

山田 暖花

私は、小学四年生の夏に高野ジュニアに入団しました。初めは空振りばかりでうまくいかなかったりと、人一倍練習しました。その結果、少しずつ試合に勝てるようになってとても嬉しかったです。私は、テニスを通して諦めずに努力することの大切さを学びました。また、練習試合や遠征で、たくさんの方々が応援してくれました。ご指導してくださったコーチのみな様ありがとうございました。中学生になっても私らしくがんばります。

蟹谷 妃咲



杉戸西剣友会



私は、五年生の時に杉戸西剣友会に入団しました。高学年から始めた事で、厳しい稽古が多く、家でも練習する日がありました。剣道を通して集中力と精神力、体力が身に付き、新しい自分に出会えた気持ちになりました。

今まで知らなかった礼儀作法や所作などを教えてくださった先生方や支えてくれた保護者の方々に感謝しています。剣道を通じて教えてもらった事や身につけたものをこれからの人生で生かしたいと思います。中学校に行っても、くじけずに自分の強みである集中力と精神力で運動も勉強も頑張ります。

笹尾 心遥

ぼくは、四年生の冬に西剣友会に入団しました。

初めは竹刀を振ることが楽しかったのですが、厳しくなる稽古にくじけそうになった時、先生方仲間にはげまされ続けることができ、試合で成功や級しん査で合格した時、胸がうれしきではじけそうな気持ちになり、続けていってよかったと思いました。

剣道を通して忍耐力・集中力・礼儀作法を学びました。

今まで指導して下さった先生方、仲間感謝し、中学校へ行くことも頑張っていきます。ありがとうございました。

金子 航己

教育委員会 社会教育課
スポーツ振興担当
☎0480-33-1111
内線493

